平 成 2 6 年 度 予算案の主な取組



©NARA pref.

第34回全国豊かな海づくり大会~やまと~

平成26年2月 奈 良 県

目 次

I 3	平成26年度予算編成にあたっての決意	•	•	•	1
Π - 3	平成26年度の主な取組	-			2
1	本県産業雇用の発展を促進する取組		•	(3
2	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた国際観光、 文化発信、国際交流、スポーツ振興、 にぎわいの拠点整備の重点的取組			-	7
3	社会保障の充実とにぎわいのある住 みよいまちづくりを進め、くらしや すい奈良を創る取組			1 2	2
4	紀伊半島大水害からの復旧・復興、 南部地域・東部地域の振興、防災力 向上への取組			1 7	7

I 平成26年度予算編成にあたっての決意

本県経済の発展を期して

本県では、地域の特徴をよく見極めて施策の柱を立て、県民の皆様のくらしに直結する様々な取組を進めてきました。例えば、医療の分野に力を入れて取り組んだ結果、周産期医療の充実や病院の整備構想の進展など、その効果を実感できるようになってきました。医療の分野とともに力強い取組が必要であった経済の分野においては、企業誘致に積極的に取り組み、一定の成果を上げてきましたが、構造的な問題もあり、本県の経済の状態が充分なものになるまでには至っていません。

本県の経済は、家計消費支出額が全国3位、個人預金残高も全国4位と全国平均を大きく上回っている一方、産業の面では、県内総生産は全国37位、年間商品販売額は全国46位、また、雇用の面では県外就業率が全国1位、女性の就業率が全国47位で、消費と産業・雇用のバランスが非常に悪いという現状にあります。

今日の日本の経済体制では、大都市や生産基地が発展すると周辺も発展するというパターンではなくなり、各々の地域が内発的地域経済構造となるよう地元経済を刺激し、自立的な地域を目指していかなければならない時期に来ています。

今後、人口減少、高齢化が急速に進む中、投資・消費・雇用が 県内で好循環するよう、平成26年度は、経済の構造改革に向け た取組を県政の主軸に置き、奈良県の発展を強力に進めてまいり ます。

Ⅱ 平成26年度の主な取組

左記Iの考えの下、平成26年度予算案は、消費税率引き上げに対応する国の経済対策と歩調を合わせながら、財源として国予算、特に財源措置が有利な平成25年度補正予算を最大限活用することとして、平成26年度当初予算と平成25年度2月補正予算を一体で編成し、以下の4点を主な取組としました。

- 1 自立的な地域経済を目指し、本県の産業雇用の発展を促進する取組を強力に進める。
- 2 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、本県においても、国際観光の振興、文化の発信、国際交流の促進、スポーツの振興、にぎわいの拠点整備に重点的に取り組む。
- 3 健康づくり、医療・福祉、こども・女性支援の各分野の充実を図るとともに、にぎわいのある住みよいまちづくりを進め、県民の誰もが人生の各ステージにおいて生き生きと活動できるくらしやすい奈良を創る。
- 4 奈良県紀伊半島大水害復旧・復興集中期間の最終年度にあたり、各般の取組に万全を期すとともに、南部地域・東部地域の振興と、防災力の向上に着実に取り組む。

1 本県産業雇用の発展を促進する取組

- ◇リーディング分野、チャレンジ分野における産業育成、企業誘致の推進、意欲ある企業・起業家への支援を図り、ターゲットを絞った産業支援を行います。
 - ○**⑥**「産業興し」の視点から、産業分野ごとの現状を分析し、リーディング産業分野、チャレンジ産業分野の創出に向けた取組を実施[25]
 - ○漢方の産業化に向け、薬用作物の生産から医薬品製造、販売、関連サービスの創出等を総合的に推進[73]
 - ○少子高齢社会におけるくらしの中の課題を解決する新産業 (Living Science) の創出に向けた研究開発を推進[21]

 - ○企業誘致に向けた京奈和自動車道等の整備の促進及び県の活力を牽引する幹線道路ネットワークの形成[14,624]
 - ○企業立地促進補助金[800]

 - 創業サロンの開催などにより県内における創業を支援[1]
 - ○起業に向けた事業計画を全国から募集し、優れた計画を表彰[6]
 - **動**飲食店や宿泊施設等を創業しようとする者に対する無利子、無保証料 の資金を創設



ビジコン奈良2013



京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺